

# 桁端部防水システム ケタコートシリーズ

## 1 はじめに

ハードロックⅡケタコートシリーズは優れた防水性能、ひび割れ追従性能、コンクリートに対する付着性能により、コンクリート橋梁の桁端部を保護する防水材料です。

## 2 特徴

### ①防水性能

ケタコートで造られる防水膜は右図の様な多層構造で、日本道路公団試験研究所規格“コンクリート橋桁端部防水システムの防水層の品質規格”に適合する防水材料です。

### ②速硬化性・低温硬化性

短時間で硬化しますので次工程への待ち時間が短く効率的です。又、低温でも硬化するため冬季の施工が可能です。

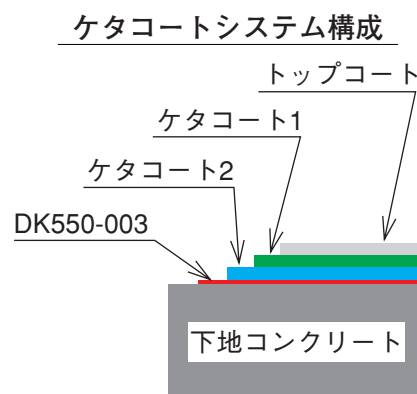
### ③湿潤面接着性

湿潤面でも施工が可能で良好な接着性を示します。

**注：**漏水のある場所、結露する場所への施工はできません。

### ④安全性

ビスフェノールA（環境ホルモン物質）を含有していません。



## 3 性状

### ケタコート1

特性項目 (23℃)	ケタコート1	
	A剤	B剤
主成分	変性アクリル樹脂	硬化剤
外観	灰色系液	青色系液
液比重	1.5	1.0
混合比	A剤：B剤 100：0.5～3	
粘度 [mPa・s]	15,000～60,000	10～100

### ケタコート2

特性項目 (23℃)	ケタコート2		
	A剤	B剤	コツザイ
主成分	変性アクリル樹脂	硬化剤	フィラー
外観	白色系液	青色系液	灰色系
液比重	1.0	1.0	粉体
混合時比重	1.9		
混合比	A剤：B剤：コツザイ 100：1：350		
粘度 [mPa・s]	300～2,500	10～100	—

NOTE：施工場所の外気温により硬化速度が変わります。可使時間の調整はB剤配合量の増減で行って下さい。

日本道路公団コンクリート橋桁端防水システムの防水層の品質規格評価結果

評価項目		照査基準値	試験結果	判定
遮水性試験		漏水しない事	漏水無し	合格
遮塩性試験		塩素イオン透過量 5.0×10 <sup>-3</sup> mg/cm <sup>2</sup> 以下	3.6×10 <sup>-4</sup> mg/cm <sup>2</sup> 以下	合格
中性化阻止性試験		中性化深さ 1mm以下	0 mm	合格
酸素透過性阻止試験		酸素透過量 5.0×10 <sup>-2</sup> mg/cm <sup>2</sup> ・日以下	1.1×10 <sup>-5</sup> mg/cm <sup>2</sup> ・日	合格
水蒸気透過阻止試験		水蒸気透過量 5.0mg/cm <sup>2</sup> 以下	0.31mg/cm <sup>2</sup> ・日	合格
熱膨張性試験		熱膨張係数 2.0×10 <sup>-5</sup> /°C以下	1.21×10 <sup>-5</sup> /°C	合格
外観	標準養生後	膨れ・割れ・はがれの無い事	異常無し	合格
	促進耐候試験後	膨れ・割れ・はがれの無い事	異常無し	合格
	温冷繰り返し試験後	膨れ・割れ・はがれの無い事	異常無し	合格
	耐アルカリ試験後	膨れ・割れ・はがれの無い事	異常無し	合格
伸び試験	標準養生後（常温）	塗膜の伸び 0.4mm以上	0.70mm	合格
	標準養生後（低温）	塗膜の伸び 0.2mm以上	0.29mm	合格
	促進耐候試験後	塗膜の伸び 0.2mm以上	0.39mm	合格
付着試験	湿潤時	コンクリートとの付着強度 1.5N/mm <sup>2</sup> 以上 もしくは母材材料破壊であること	2.12N/mm <sup>2</sup> A 100%	合格
	耐アルカリ試験後		1.93N/mm <sup>2</sup> A 100%	合格
	温冷繰り返し試験後		2.25N/mm <sup>2</sup> A 100%	合格

NOTE：日本道路公団試験研究所規格 JHERI 410-15

## 4 荷 姿

ケタコート1： A剤 20Kg（ポリペール缶）、B剤 200g（ポリ容器）

ケタコート2： A剤 2Kg（ポリ容器）、B剤 20g（ポリ容器）、C剤 7Kg（ビニール袋）

## 5 使用法

プライマーはDK550-003をご使用ください。尚、DK550-003は日本道路公団「コンクリート剥落防止対策マニュアル」に記載されている樹脂系ひび割れ含浸材品質規格に適合した材料です。

トップコートはウレタン系耐候コート材CFコートUをご使用下さい。

施工に当たりますては、標準施工要領書並びにMSDSをご参照下さい。



- 警告**
- ハードロックⅡは消防法の危険物に該当しますので作業場は火気厳禁としてください。
  - 一度に多量の接着剤を硬化させると激しい発熱が生じますので注意してください。
  - 皮膚や衣服に付着したりするとかぶれるおそれがありますので早めに石けんで洗ってください。万一、かぶれた場合には医師の手当を受けてください。
  - 作業場所は換気を良くし、保護眼鏡、保護ゴム手袋、必要に応じて有機ガス用マスクなどの保護具を着用してください。
  - 目に入れたり、飲んだりしては絶対にしないでください。誤って目に入った場合、15分以上流水で洗浄し、医師の手当を受けてください。また、誤飲した場合、吐かせて医師の手当を受けてください。
  - ハードロックⅡは湿気や金属との接触を避け、密栓のうえ暗所に保存してください。

### ◇データ等記載内容についてのご注意

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性について貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・製品安全データシートで確認してください。これらの資料は、弊社の担当部門にご用意してありますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。



この製品は、その品質／環境マネジメントシステムがISO9001／ISO14001に適合しているとして、認証・登録された工場で製造されました

本社

東京都中央区日本橋室町2-1-1（日本橋三井タワー）〒103-8338  
特殊混和材事業部 電話03-5290-5363